

# 水清きふるさと

平成26年度活動のまとめ(2014年度)



江釣子湧水群

岩手県生活問題研究会  
一般財団法人 岩手県民共済会

## 2014年度の活動報告

千年に一度かと言われた東日本大震災発生から4年が経過しました。この間、復興に向けた努力が続けられました。しかし被災した地域、人々のくらしは大きく変化し、将来の見通しが立たない現実が今も続いていると言わざるを得ません。とりわけ福島県はふるさとに戻れず、仮住居での不便な生活が続いている現状があります。岩手に於いても復興の進捗状況は計画通りに進んでいるとは言えないようです。一日も早く安心して生活できるよう願います。

当研究会は大震災の体験を決して忘れず、活動を継続してきました。私たちの報告書のテーマである「水清きふるさと」に立ち帰り、原点に立ち帰り研究をすすめ、年に一度の報告書を作成し平成11年から数えて15冊目になりました。

体験した震災を含め、目まぐるしく変転する社会状況の中にあつて、当研究会は自身のライフスタイルを常に省みてテーマを設けながら初心に戻ることも忘れず現在に至っています。いのちを守り持続するために必要な水を汚さない実践などはひとつの例です。

当研究会は地球温暖化についても取り組みを続けてきました。CO<sub>2</sub>を排出しないためにどうするか日常のくらしの中から考えてみようなどから初めた内容も現在は持続可能なエネルギーの見学などに移行しています。

ささやかな研究は今後も続きますがこの研究を継続出来るのも一貫したご指導ご支援をいただいている関係者の方々のおかげです。深く感謝申し上げます。

2015年5月

岩手県生活問題研究会

会長 佐藤 まゆみ

## カイワレの発芽実験

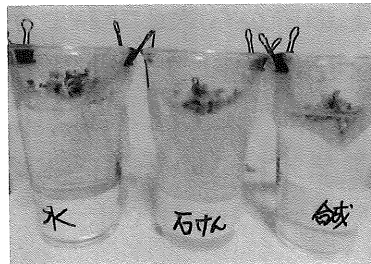
2014年7月 各自家庭にて観察

	水	合成洗剤	石けん
1日目	種まき	種まき	種まき
2日目	発芽した	発芽した	発芽した
5日目	順調に成長、根も順調に伸びている	水と比べ3~4割位の成長	水と比べ5~6割位の成長
7日目	順調に成長	葉が茶色に変色、根は伸びない	根は合成洗剤よりは伸びた程度、葉は水と同程度に成長
			写真を撮るために水を変えた
10日目	まだ成長している	葉はほとんど枯れた、根は伸びない	7日目からの成長はあまりない。

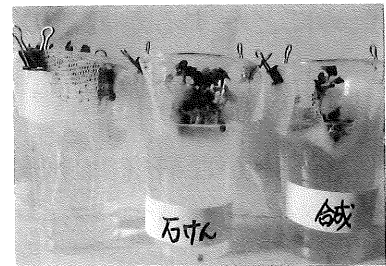
【1日目】



【2日目】



【5日目】



【7日目】



【10日目】



<目的>

合成洗剤は環境に悪影響を与えるといわれているが実際はどうか？  
取り組みやすいカイワレで実験してみました。

<実験の方法>

標準使用量の2分の1で実験した時は、合成洗剤、石けん共に何とか発芽はしましたがその後の成長はみられませんでした。

標準使用量の7分の1の合成洗剤、石けん、水道水の3種類の溶液で発芽させました。

※合成洗剤；K (合成界面活性剤37%)

※石けん；C 台所用洗剤(純石けん分28%)

<まとめ>

わたしたちの観察した結果だけで合成洗剤が安全かどうかを決めつけることはできませんが、環境(植物の発芽成長)に影響を及ぼすことがわかりました。

報告 田上 みね子





## 2014 緑のフェスティバル

日 時 2014 年 5 月 25 日

場 所 中津川河川敷

2 年に一度行われる「緑のフェスティバル」が晴天のもと開催されました。前回は東北六魂祭があり例年より一週間早かったが、今回はいつものように草花や山菜が出まわる時期で家族連れで多くの人に参加してくれました。中津川河川敷には 14 のブース（テント）とメインステージが設けられました。

主な出展内容は・木の名前あてクイズ ・きき水クイズ ・環境保全活動事例 ・竹トンボ、鉛筆作り ・手づくり石けん、石けんと合成洗剤どちらを使いますか ・盛農生徒が作った農産物、商品の販売 ・福祉施設で作ったコーヒー豆等の販売、提供、バター作り体験、イワナつかみなど・・・盛り沢山の内容でした。

環境に関するパネル・出展がたくさんありましたが人気のブースは作ったり、食べたり、踊ったりと実際に動きのあるものに人が集まっていました。研究会のブースは全水道と同じテント内。今回のきき水クイズは沖縄、横浜、盛岡の 3 つの水道水でしたが、なかなか難しく正解率は低かったようです。メインステージでは 30 分交代で歌や踊り、コンサートなどの催物がありました。研究会は例年のように手づくり石けんの実演をしましたが、前回からは手軽にできるペットボトルを利用して作りました。名付けて「シェイクシェイクのたのしい石けん作り」。結構人気があり親子 10 組 20 人ほどが集まりとても楽しそうでした。参加者は祭りを満喫したようです。

### 感想

前回の苗木プレゼントは大木になる「なんじゃもんじゃ」。大木にならないことと実がなるものがよいとの意見を反映させて「ブルーベリー」に。研究会のブースでは「石けんと合成洗剤どちらを使いますか」というアンケートをしてもらったが、みんな楽しそうに参加してくれた。やはり見るより実際手を動かしたりした方が、人は寄って来るものだと実感。バター作りやドン菓子コーナーは人気で待っている人もいる状態だった。参加者は青空のもと、思い思いに自然を満喫した一日。企画、準備は大変だが、自然とのふれあいが身近にできるフェスティバルは今後も続けたいものです。

記 広野カツ子





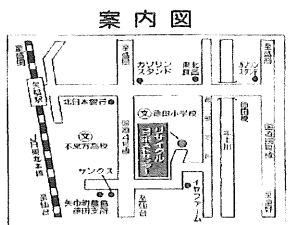
説明の後、施設内のごみ焼却炉・リサイクルコンポストセンターを見学をする。やはり、コンポストセンターは、ある程度匂いがあり、見学に来た小学生の中には、気分を悪くする子もいるそうです。処理されたものは有機質の堆肥となり、製品名“田園有機”として販売されています。

**みんなが出した残飯が  
有機質の堆肥になりました**  
**製品名は“田園有機”**  
**ぜひお試しください!!**



- 特長**
- ◎残飯と樹皮を原料として作られた有機質の堆肥です。
  - ◎土壌を柔らかくする効果があります。
  - ◎家庭菜園・花木にも適しています。
- 使い方**
- ◎堆肥の特性を十分発揮させるため土と良く混ぜてから使用してください。

台所から農業へ、そして台所へと自然を生かした大きな“リサイクル”をめざしています。



●リサイクルコンポストセンターまでの距離  
矢幅駅から片道約10分、矢幅町農林センターから約3km

**感想**

建物の外見が、ピンクと白の優しい色彩で、ごみ処理場の臭い、汚い等のイメージを払拭する建物で、良いアイデアだと感じました。私は北上市の住人ですので、設備の充実と個人の負担の額に羨ましさを感じました。

また、紙ごみをビニール袋に入れて出すとの事だったので、北上と違うなと思い、「紙袋に入れれないのか」と質問したところ、「包丁が入っていた事があり、そういう危険な物の排除のため」と言われ、びっくりしました。

ルールを守って、ごみを出す啓蒙も必要だなと、改めて強く感じました。

堆肥“田園有機”一袋を購入しました。玉ねぎに使ってみたので、収穫を楽しみにしています。

これからも、資源になる物はきちんと分別して出し、ごみを減らす努力をしていきたいと思いました。

報告 佐藤 冊子



## 岩手県消費者大会 全体会

### 基調講演 「消費税をなくしても生活はなりたつ」

大阪経済大学 経営学部 客員教授 岩本沙弓さん

日 時 2014年10月30日(木) 10:40~12:15

場 所 サンビル7階 ホール

- ・岩本さんは日本や外資系の金融機関で、「お金でお金を増やす」ことについて結果を出さないと次の年はその職場に残れないという厳しい場所で、24年も仕事をしてこられた方です。
- ・そんな岩本さんが仕事の上で大事にしていたのは、①正確な情報を入手する ②他人の話を鵜のみにしない ③市場参加者の気持ちになる だそうです。
- ・配布された厚手の資料は、グラフや聞いたことも無い経済指標の用語が満載で、正直に言って話について行けて理解できるかしらと不安になりました。しかしその心配は無用でした。
- ・たくさんの統計資料を用いて説明しながら、消費者にとって消費税は“税”ではなくて“物の値段”であり、5%から8%になったのは3%物価が上がっただけなので、給与も上昇しなければ困ると述べました。
- ・日本の経済が何で回っているかという、GDP(国内総生産)の6割を個人消費が占め、これで日本経済を支えている実態だそうです。日本は貿易立国で物を輸出して稼いでいると思われていますが、個人消費が大きな比重を占めています。よって消費者の気持ちがダウンしていけば需要の伸びは期待できないので、事業者にとっても設備投資に前向きになれない状態を生みます。つまり消費税のアップが景気を悪くさせるのだと、とてもわかりやすいお話でした。
- ・財務省から出ている誰でも見ることのできるグラフを使って「失われた20年」は消費税の時期と重なっており、消費税が景気を悪くしたことを説明しました。
- ・さらにこのグラフからは、消費税を導入しても税収は伸びていないのだから、消費税では財政再建をすることが無理なのだという事も解ります。
- ・また、法人税についても強い大企業ほど納めておらず、一方高い消費税率を負っている中小企業は消費税の納税時期が来ても、納めたくても納められない実情にあり、これが年々増えているそうです。不公平感の強い法人税を応能負担の仕組みにすべき

だと主張しました。

・以上のことから、収入は増えないのに年々支出するお金が増えて行くという税の仕組み全体を変える時期に来ていることを力説しました。

・日本の“財政危機”についても、金融の最前線のトレーダーはそうは思っておらず“財政危機”を理由に増税を言うのは間違いだとのことでした。

・日本は325兆円を海外に貸している、23年連続の世界一位の対外純資産保有国なのにこのことが国の統計に反映されていないとのこと。また、国の借金（国債）の多くを日本人が保有しているので、国の借金が増えるということは日本国民の資産が増えるということだそうです。これが“財政危機”とは見ない理由です。

・アメリカは関税以外で貿易を制限するもの（輸入品への課徴金、政府による補助金など）を非関税障壁ととらえ、それを直接非難することは他国への内政干渉になるので形を変えて通商交渉の場で「報復」措置を打ち出してきた歴史があるそうです。消費税もこれにあたるとのことでした。

#### 感想

・ここ最近の講演のなかでは群を抜いて分かり易く、私自身も消費税では日本の未来は守れないと確信できました。自分の主張に都合のいい資料だけ出してきて説明する講師もいますが、岩本さんは資料もお話も客観的かつ冷静で説得力がありました。

・貧富の格差が広く認識されてきました。右肩上がりでほとんどが中流家庭と言われた時代はいつの間にか気がつかないうちに終わり、“貧困”という語句も一般的になってしまいました。日本が良くなるように私達も少しでも声を上げていきましょう。

報告 横藤崇子

2014年度 岩手県消費者大会 第6分科会 環境問題  
「あなたはどっち派？合成洗剤 or 石けん」

日時 2014年10月30日(木) 13:10~15:00  
場所 サンビル7階 5号会議室 参加者 24人  
講師 岩手県漁業組合連合会 川崎 光博さん  
「合成洗剤の有害性と石けんの有利性」と題し、DVDと講演

- \*石けんとは合成洗剤の違いは原料にあり
- \*汚れ落としは石けんの勝ち！
- \*蛍光増白剤で白く染め、ごまかしている
- \*価格は石けんのほうが高めだが、合成洗剤は安くてもタールでできている
- \*合成シャンプー、合成歯みがき剤の影響
- \*洗剤に香りをつけるときれいになるイメージ
- \*魚を合成洗剤の中に入れると7分で死亡（単細胞の場合膜から細胞が出てくる。人間の場合手荒れ）
- \*合成洗剤と柔軟剤によって更に毒性
- \*洗濯の仕方、などが紹介されました。

交流では、研究会が平成22年度に取り組んだ合成洗剤がめだかに及ぼす影響、今年の7月に取り組んだ、カイワレ大根の実験のパネル展示と説明、新婦人の会からは、新婦人発行の新聞記事より、「柔軟仕上げ剤の香りで体調不良？」の紹介がありました。

参加者からは、

- ・合成洗剤を使っていた孫のおむつかぶれが石けんに変えたら良くなった
- ・お返しに合成洗剤をもらうことがあるが、使いたくないがどうしたらいいか。
- ・学んだことを家族や知り合いに教えあう
- ・宮古の重茂には「合成洗剤を売らない、買わない、贈らない」の看板がある
- ・台所の食器洗いはスポンジに直接出して使う人が多いと思うが、適量よりかなり多い。商品に使い方の説明あるが、守らないのは自己責任
- ・色が変わったりしないと私たちは自覚しないが、人間は命のことを考えたらピラミットの頂点、海が汚染→小さな魚→大きな魚→人間。安全な食べ物を子どもたちに残したいなら水を汚さないことが原点。

教員をしていた時、カメムシが冬眠のため家に入ってきて、こすれると臭い。虫をどうするか、合成洗剤のママレモンの薄めた液にいれたところほらわたがでた。

一番は水を守ることが大切、などが出されました。

提出されたアンケートの内容は

- ・合成洗剤と石けんの違いを知り、洗濯の仕方を見直さなければいけないと反省。巧みな宣伝に惑わされて、香り製品を愛用している娘たちに今日学んだことを知らせたい(男性の参加者)
  - ・合成洗剤の水に与える影響の大きさに改めてびっくり。だいぶ前に一度洗剤の学習で教えていただいたことを思い出した。ちょっとずつでも石けんにかえようかな？
  - ・石けん使用を続けます
  - ・企業側の安全意識がいかに低いか分かった
  - ・環境を作る人も自然も大切なことと思った。洗剤を使用する時は注意していきたいと思う
  - ・とても勉強になった
- などの感想が寄せられました。

研究会は設立してから40年になります。特に河川水の汚染調査研究をする目的で立ち上げられました。

3年7か月前の東日本大震災により、原発の恐ろしさをまざまざと見せつけられ、水や合成洗剤に対する意欲が低迷していた感があったと思います。

昨年の消費者大会のアンケートの中に合成洗剤を取り上げてほしいとの声に触発され、また原点に戻って分科会で取り上げようとの思いで取り組みました。これからも手足を使い地道に学習し、啓発活動をしていきたいと思っています。

報告 松村 ウメ子





## 第 53 回全国消費者大会

～消費者の選択と行動で未来をひらこう！～

日時 2015 年 3 月 13 日～14 日

場所 東京・四ツ谷 主婦会館プラザエフ

参加者 300 名

スケジュール

### 13 日 分科会

- ・消費者政策・・・消費者市民社会の実現に向け、いま私たちに求められること
- ・環境・エネルギー・・・観光立国より環境立国！！
- ・食・・・どうする？日本の食と農～健やかな命をはぐくむために～
- ・社会保障・・・公平な負担ってなに？～社会保障制度の変化と財政問題を考える

～

- ・特別分科会・・・憲法がめざす国民が主権者の社会

### 14 日 全体会

- ・各分科会からの報告
- ・基調講演「暮らしの視点から経済を考えるために」  
山家 悠紀夫氏（暮らしと経済研究所）

環境・エネルギー分科会に参加

- ① 世界史的なエネルギー大変革、逆走する日本の原発・エネルギー・気候変動  
飯田 哲也氏（環境エネルギー政策研究所 所長）

#### ・3.11 大不幸中の「三つの幸い」

##### 1 省エネ・節電の成功と意識転換

##### 2 FIT（固定価格買い取り制度）の成立と自然エネルギー

自然エネルギーは時間とともに安くなる 家庭用太陽光発電の発電単価 2009 年 KWh50 円→2015 年 29 円 家庭用平均電気料金単価 2009 年 KWh21 円→2015 年 30 円

##### 3 「原発神話」からの脱却と地域からのエネルギー挑戦

#### ・地域自立・分散エネルギー革命の時代

##### 1 デンマークで起きた 30 年の大変換

1980 年大型火力発電→2012 年コジェネ風力発電 1000 基のコジェネでコペンハーゲンの 98%、サムソ島では 100%自然エネで電力を賄っている。

##### 2 分散エネルギー革命の始まり

ドイツでは電力会社エーオン社がエーオン未来社とエーオン過去社の 2 部門に分社して稼働。おいおいには未来社にシフトさせる方向。

##### 3 日本中で立ち上がる「ご当地エネルギー」

立ち上がる『ご当地エネルギー』

アルプス電力  
飛騨高山  
自然エネルギー-信州ネット  
おひさま(飯田)  
京丹後 宝塚  
備前Gエネルギー  
市民エネルギー-山口 静岡 小田原 日生橋 パル  
熊本 小浜温泉  
グリーンコープ 大地を守る会  
二セコ 富良野  
最上 大潟村  
会津電力  
南相馬 相馬  
埼玉 調布 世田谷  
多摩 生活クラブ生協

Rising community power. Fukushima  
日本のコミュニティパワー-福島

Odawara, Kanagaga  
ほろとくエネルギー株式会社 (小田原)

2012年12月20日 監事配着会見

加藤小田原市長 警衛ほろとくエネルギー社長  
鈴木雄三副社長 鈴木雄三副社長

Shizuoka  
しずおか未来エネルギー株式会社

地域に住まう“みんな”で創る、  
地域のための再生可能エネルギー

- ・ 静岡の地域エネルギー会社
- ・ 協議会での検討のもとに設立
- ・ NPOと地元企業の出資
  - NPO法人アースライフネットワーク
  - 鈴木商事株式会社

## ② 協同組合の理念と自然環境エネルギー問題

城南信用金庫 理事長 吉原 毅氏

### ・協同組合の歴史と理念

協同組合はまっとうな組合 悪は株式会社、目先の利益に惑わされる。株主は仕事の内容も分からず配当の多いものを選ぶ。株主資本主義になると会社の目的が見えなくなる。銀行は困った人を助けることなのに株主資本主義に陥りやすくなる。協同組合組織の金融機関である信用金庫は、地域社会の中で健全なコミュニティを築き、人々の生活を守り、人々の幸せを実現する使命を持った社会貢献企業

### ・東日本大震災と福島原発事故の衝撃

- 1)津波で被害にあった岩手県からの内定取消者を受入れ
- 2)原発の「安全神話」の嘘に気付く
- 3)電力会社、政治家、役人、マスコミの無責任さに怒り

### ・脱原発と自然エネルギーの推進こそ信用金庫の使命！

昨年 10 月に「地域再生エネルギーシンポジウム」を開催。地産地消の自然エネルギーのための融資を積極的に推進。

## ③ 消費者から生産者に

NPO 法人足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ  
(足温ネット) 事務局長 山崎 求博氏

・山崎さんは大学在学中に環境問題の存在を知る。都庁入職後に、日ノ出町ゴミ処分場問題に関わる。生活クラブ生協の活動に参加し、地域の人達と縁ができる。1996年に、江戸川区で気候変動問題を考えるネットワークに参加

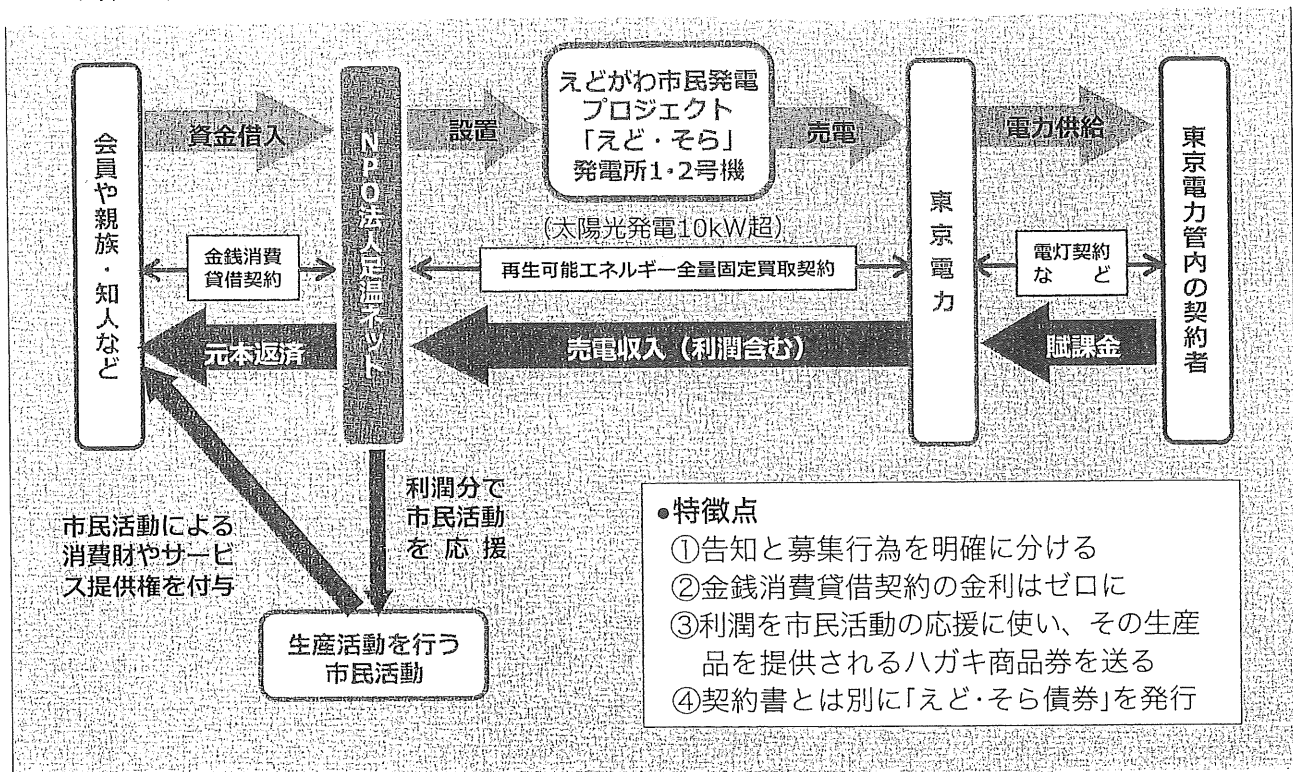
### ・足温ネットとは

1997年1月に任意団体として結成し、自動車解体業者と廃車カーエアコンからのフロンガス回収を実施。9月には江戸川区が補正予算を組んで事業化。以後、エネルギー問題を中心に活動している。

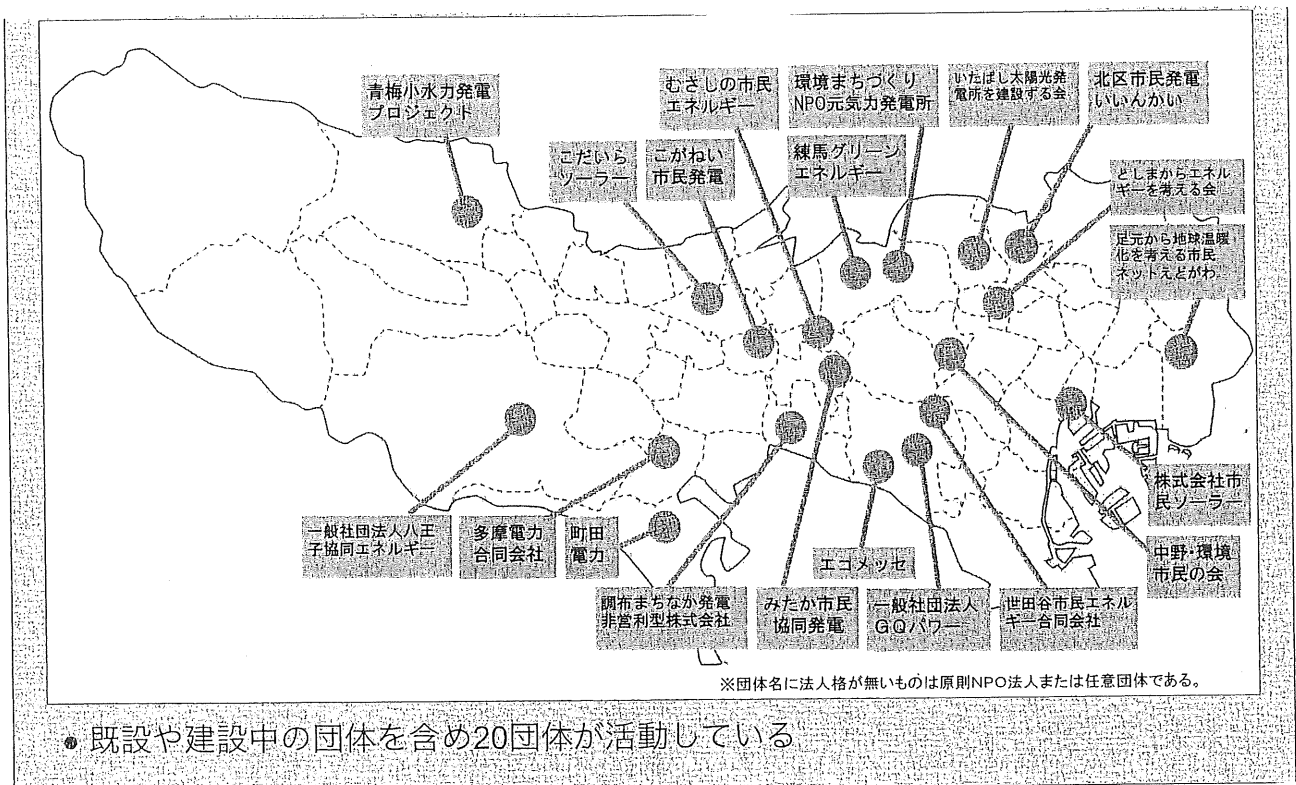
#### 1 市民立発電所の建設、運営

- ・1999年7月に第一発電所を区内の寺院に建設
- ・5,4KWで590万円、助成金や寄付、寺院の負担で捻出
- ・寄付が集まらず未来バンクから借入

## 事業全体のスキーム図



## 都内で進む共同発電の動き





## 感想

暫くぶりに消費者大会に参加して思ったことは、以前より参加者は少ないものの内容が濃い大会だったと思った。あの 3,11 以後のエネルギー問題との取組は私が思っている以上に NPO はじめ色々な団体で取組んでいると思った。特に東京は共同発電の動きが 20 団体もあり、市民発電連絡会の結成もされ現在 80 の個人や団体が参加しているとのこと。さすが情報発信地だけでなく行動力もあることを思い知らされた内容だった。講師の飯田さんが竹中平蔵氏に「脱原発は経済が活性化しますよね」と念を押すと「分かっている」と答えたとのこと。元首相の小泉氏は脱原発を主張しているが竹中氏はじめ原発に頼らない方がよいと考えている、いわゆる有名人の人達は国のためもっと声を挙げてほしいもの。私たちはこのような大きい事には取り組めないが、省エネルギーの暮らし方を考え実行することは可能。小さい事の積み重ねを大切にしたい。

また食分科会には出席しなかったが、本物の食と平和の大切さを発信しているアーサー・ビナードさんのコラムが素晴らしかったので添付します。外国人に日本の良さを教えられました。

## 全体会

暮らしを良くするために～どのような社会を目指すべきか～ 山家悠紀夫氏

### 1 アベノミクスとその効果

アベノミクス「3本の矢」とその効果

- ① 「第一の矢：大胆な金融政策」は的外れの矢である
- ② 「第二の矢：機動的な財政政策」はその場しのぎの矢である
- ③ 「第三の矢：民間投資を喚起する成長戦略」は毒矢である

法人税減税、規制緩和、政府の力を使って企業支援（企業関係者を同行して首相の度かさなる外遊、武器輸出、原発の再稼働など）

### 2 暮らしを良くするために、どうすればよいか

- ① 日本経済を長期停滞から脱出させるために

・アベノミクス「3本の矢」を止める。

消費税再引き上げをさせない。 TPP への加盟を阻止する

- ② 暮らしを良くすれば、日本経済もよくなる

・労働環境の抜本的改善を図る

構造改革論の登場から景気は下がった。橋本内閣・・財政再建の強行で不況を招く（1996年）小泉内閣以降の内閣が構造改革として本格実施。日本経済は1997年をピークに正規雇用者数、雇用者の年収、名目GDPすべて下がった。企業の経常利益だけが上がった。

・構造改革の論理

- ① 日本経済を強い経済にしなければならない

- ② そのためには、企業が元気にならなければならない

- ③ 企業が元気になるには、企業が儲かるような経済構造にしなければならない
- ④ 強い企業がもっと強くなれるよう、競争原理が強く働く経済構造にしなければならない
- 具体的な政策としては①規制緩和（強いものが残り弱い者は淘汰）②小さな政府（民営化で企業の儲けの機会を増やす。社会保障支出の抑制）

### 3 これからの日本経済の目指すべき方向

- ① 労働環境の改善を図る（週 40 時間労働で暮らせる社会に）
- ・非正規雇用に対する規制強化
  - ・残業規制の強化
  - ・もぐり残業の根絶
- ② 地方経済の再建を図る
- ・地方自治の強化
  - ・農林漁業の再生（自由貿易主義からの転換）
- ③ アジア諸国との協調を図る
- ・アメリカ一辺倒外交からの脱却
  - ・侵略戦争の真摯な反省、被害者への補償
  - ・軍備を持たない日本へ

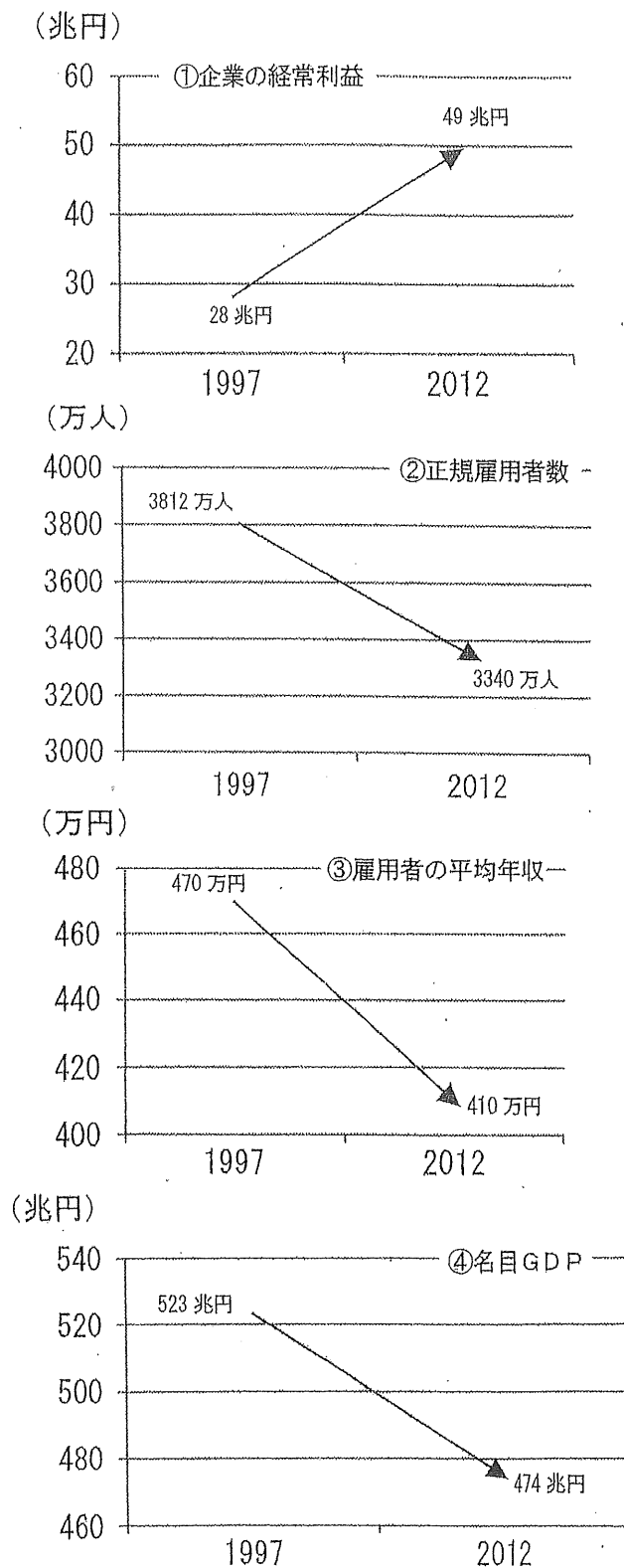
目指すべき社会の実現は可能である

大企業に負担能力は十分にある。政府におかねは無いが、日本国内にはお金が余っている。問題は誰が、どのようにして実現するか。

広野カツ子

● 「構造改革」の下での日本経済の変化

～企業収益は増えたが、正規雇用は減少、賃金は低下、経済は縮小した～



(資料) 財務省「法人企業統計」、総務省「労働力調査」、国税庁「民間給与実態統計調査」、内閣府「国民経済計算」

本物の食と平和の大切さを発信

詩人・随筆家

# アーサー・ビナードさん

Arthur Binard



Profile

アーサー・ビナード：1967年アメリカ・ミシガン州生まれ。高校生のころから詩を書き、大学で英米文学を学ぶ。卒業と同時に来日。2001年第一詩集「釣り上げては」(思潮社)が中原中也賞に。「日本語ばこりばこり」(小学館)が講談社エッセイ賞、「ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸」(集英社)が日本絵本賞、「左右の安全」(集英社)が山本健吉文学賞。2012年、広島文化賞を受賞。近著に「亜米利加にも負けず」(新潮文庫)など。

**ア** メリカの大学在学中に日本語と漢字に興味をもち、単身で来日。日本語による詩、翻訳、エッセイなどを数多く世に送り出し、日本文化の本質に深い理解を示す一方、原発廃止を明確に主張するなど、社会問題にも鋭く警鐘を鳴らし、多くの人を引き付けるビナードさん。

「発酵文化」を基盤とする日本食への愛着は、みずからの名刺で「朝美納豆」と自称するほど。「食と農の崩壊」から始まる独立国としての危機から、私たちはこの国をどう守っていくべきかを語っていただきました。聞き手●矢吹紀人(ルポライター)

## 日本の食文化で知った発酵食品のすばらしさ

「僕の体の50%以上は国産大豆できています」と言われますが、「豆好き」はいつから？

子どものころから豆は大好きでした。地元のアメリカ・ミシガン州は大豆の産地ですし、リンズマメやインゲンも好きでした。私の父は、家庭菜園でインゲンやササゲなどを栽培していました。でも、日本料理を知らなければ、本当の豆の良さはわから

ない。22歳で初めて日本へ来て、2週間後ぐらいに納豆を食べました。

——外国の人には、納豆の匂いが強烈過ぎると聞きますが。

納豆菌の発酵ですよ。発酵の匂いと腐敗の臭いは全然違います。人はだれでも「発酵」のお世話になっていて、消化も体内の常在菌が助けてくれる。菌は食文化の大事な力ギなのに、多くの消費者はその存在を考えません。「賞味期限を見て、腐っているか判断しようとする。でも、腐っているかどうかという以前に、どうい菌がそこにいるかが大事なんです。

スナック菓子やファストフードなどには、菌が1匹もないかもしれない。そんな化学薬品の塊のような工業製品は、そもそも食べものじゃないのです。

——日本の食文化は、菌の力による「発酵」に根ざっていますか。

## 日本語を守るためにたたかう





日本の発酵文化を見ると、チーズ作りが進んでいるイタリアが、発酵では後進国に思えます。でも、たとえば日本の大企業が売るしょうゆも、マクドナルドが「食べものによく似たもの」を売ると同じで、「死んでいる」。人間の味覚を欺く技術は、すごく進歩している。判断すべき基準は、「食べものかどつか」です。

**食料をアメリカに握られ  
独立国の尊厳を失って**

——豊かな食文化がありながら、日本の食料自給率は4割まで低下しています。

実情を知らないアメリカ人が

その数字を聞くと、「ええっ、それじゃ国家としてヤバイだろっ」てあ然とします。でも、日本の食料自給率は自然に落ちたのではなく、アメリカ帝国によって落とされたんですよ。

アメリカ政府が敗戦後の日本をどう利用するか考えたとき、だぶつくアメリカ産小麦を使つたパンを食べさせて牛乳を飲ませれば、三つ子の味覚は百まで」というように、日本人は日本の伝統食を忘れる。

そうやって、米政府が日本を属国として従わせるように仕組んだ結果、食料自給率が低くなったのです。

独立国家としての存在を見出すなら、食料自給率の向上と自前のエネルギーは欠かせません。

——戦後の69年は、独立国の尊厳を失い続けた69年ですね。

日本は戦後、経済成長したといいますが、1931年に宮沢賢治が「雨ニモマケズ」を書いた

時代のほうがはるかに豊かです。農民は食べるものも着るものも、家も自分で作っていた。食べものは、生きていく滋養にあふれていました。

幻想の「経済成長」で、日本中の川はコンクリートのどぶにされ、町は壊され、美しい海岸は原発の温排水で汚され、巨大スーパーやファストフードの店ばかりにされた。東京の街は立派に見えるけど、食料自給率ゼロの餓死地帯です。それを「経済発展」と呼ばれているのです。

**TPPで日本語は滅びる  
自分にできるたかいを**

——その仕上げに、TPPが待っているということでしょうか。

そうですね。TPPはとどめで、二度と立ち直ることができません。

今の日本政府は、本当は国賊集団、売国奴です。TPPに参加したら、100年後には日本語もなくなり、

だって、グローバル経済の下

では、先住民のことばは使えませんよ。ユニクロも楽天も、「社内公用語は英語だ」とやっているでしょう。TPPに参加すれば、どの企業もいすれ英語に切り替えます。そうなれば、アイヌやチエロキー\*など各地の先住民のことばが失われていったように、日本語も使われなくなりますよ。

——恐ろしい話ですね。今、私たちにできることは？

日本語を守りたいなら、壮絶なたたかいをしなくてはいい。僕は2010年に「マイ・ボイコット宣言」を出して以来、いらないものは買わない運動をやっています。携帯電話も、自動販売機も、ファストフードも拒否。そうやって、みんなが自分にできることをやるべきです。

僕は自分の力すべてを注いで、日本語を守るためにたたかいます。同じ思いを共有し、ともにたたかう人がもっと増えてもらいたいですね。募集中です。

\*チエロキー：アメリカ先住民の一部族

## くすりの正しい使い方学習会

日 時 平成 27 年 2 月 4 日 午前 10 : 30 ~  
場 所 共済会ニュー会議室  
参加者 11 名 (研究会会員と会員以外)  
講 師 盛岡薬剤師会副会長 富山 道彦 さん

### 内容

- 1 「くすり」ってなあーに？
- 2 薬局で売っているくすりとお医者さんが出すくすりの違い
- 3 くすりの役割
- 4 くすりのできるまで
- 5 くすりの正しい使い方
- 6 くすりの副作用

などをお話ししていただき、その後参加者からの意見や質問に答えていただきました。

### 質問や意見

- \*くすりの使用期限はどのくらいか。(錠剤 1 年、こなぐすり 3 ヶ月)
- \*チューブ入り、容器入りの使用期限
- \*血圧のくすりとグレープフルーツとの飲み合わせ。(グレープフルーツが好きなのでがっかり)
- \*夫がくすりを多く飲んでいるが大丈夫かと疑問だ。(同一病院内のくすりなので問題ないのでは)
- \*高齢になってくると飲み忘れなどが起きてくるが、服薬日時が印刷された小袋があればいい (有料でやってくれる)
- \*市販のシップ薬と病院から出されるシップ薬の違い
- \*点眼薬、点鼻薬の使い方
- \*ジェネリック医薬品について、医師が使わない場合はどうするか。
- \*小さい子どもがインフルエンザかどうかわからない時に、くすりを出されたが、飲ませるのが心配だった (インフルエンザの疑いの時、状況に応じ同一家族であれば、保険を使い予防のため飲むことができる) など

今回の学習会で、自分たちの勘違いや知識不足などが分かり、これからの生活に役立てていきたいと思いました。

報告 松村 ウメ子



くすりの学習会の様子

## 平成26年度活動報告 (2014年度)

### 6月

- 18日(水) 例会 共済会会議室
- 23日(月) 佐藤会長と打ち合わせ 荻野病院
- 24日(火) 消費者大会実行委員会・消団連常任幹事会  
教育会館4階・岩教組会議室
- 30日(木) 「さよなら原発」実行委員会 県民会館第1会議室

### 7月

- 5日(土) 「脱原発」岩手県集会 教育会館大ホール
- 9日(水) 例会 共済会会議室
- 22日(火) 消費者大会実行委員会・消団連幹事会 県民生活センター
- 25日(金) 水の日行動準備 共済会会議室

### 8月

- 1日(金) 水の日行動 悪天候により中止
- 6日(水) 例会 共済会会議室
- 11日(月) 被災者生活再建支援制度の拡充についての学習会  
アイーナ8階804会議室
- 19日(火) 農政学習講演会 水産会館
- 26日(火) 消費者大会実行委員会・消団連幹事会 県民生活センター

### 9月

- 10日(水) 例会 共済会会議室
- 17日(水) カイワレ実験のまとめ 共済会会議室
- 24日(水) 消費者大会実行委員会・消団連幹事会 岩教組会議室
- 25日(木) 福祉灯油依頼活動 県庁

### 10月

- 1日(水) 盛岡・紫波地区清掃センター見学
- 3日(金) 被災者再建支援法の拡充を求める請願依頼活動 県庁
- 8日(水) 例会 共済会会議室
- 15日(水) 消費者大会実行委員会 県民生活センター
- 24日(火) TPP学習会 ニューカリーナ2階会議室
- 30日(木) 岩手県消費者大会 サンビル7階

11月

- 12日(水) 例会 高校会館2階小会議室
- 13日(木) 電機商業組合との懇談会・消費者大会ふりかえり  
岩手県教育会館2階会議室
- 26日(水) 産直運動推進大会 岩手中央農協パーフルパレス
- 28日(金) 衆議院選挙立候補者の政策を聴く会 サンビル7階6・7会議室

12月

- 2日(火) 地方消費者グループフォーラム 仙台ガーデンパレス
- 10日(水) 消団連幹事会 教育会館3階 岩教組会議室
- 11日(木) 例会 高校会館2階小会議室
- 12日(金) 食の安全リスクコミュニケーション「食の情報 あなたは何を信じますか？」アイーナ8階803会議室
- 26日(金) 消費者施策推進計画改定に係る県との意見交換 県民生活センター

1月

- 14日(水) 例会&新年会 「萬花京」
- 27日(水) 消団連幹事会 教育会館3階 岩教組会議室

2月

- 4日(水) 例会 菓の正しい使い方講演会 共済会会議室
- 4日(水) 個人情報保護審議会 盛岡市
- 12日(木) 「被災者生活再建支援制度拡充を求める署名」国会提出(東京)
- 13日(金) 被災者の声を聞く2・13集会(東京)
- 24日(木) 消団連幹事会 教育会館3階岩教組会議室

3月

- 3日(水) いわて食ネット総会・学習会 水産会館会議室
- 5日(木) 「さよなら原発岩手県集会」実行委員会 県民会館第2会議室
- 5日(木) 盛岡広域管内流域協議会主催セミナー「淡水魚保全のためのネットワークの構築～海と川、そして田んぼをつなぐ」  
講師；岩手県立大学総合政策学部 助教 鈴木正貫先生  
県庁12階会議室
- 11日(水) 例会 共済会会議室
- 13日(金) ～14日(土) 全国消費者大会 東京
- 20日(金) 岩手県福祉協議会評議員会 県民会館第4会議室
- 24日(火) 消団連幹事会 教育会館3階岩教組会議室



4月

8日(水) 例会 共済会会議室

9日(木) 「さよなら原発岩手県集会」実行委員会

18日(土) 「さよなら原発岩手県集会2015」教育会館大ホール

21日(火) 消団連総会 県民生活センター2階研修室

23日(木) 「水清き」校正作業

5月

19日(木) 例会 共済会会議室

27日(水) 消団連幹事会 利右衛門

29日(金) 岩手県福祉協議会評議委員会 エスポワール小会議室

☆各種モニター等

・岩手県再生資源利用認定製品審査会委員 佐藤まゆみ

・個人情報保護審議会委員 横藤崇子

・公益財団法人 岩手県福祉基金評議員

(消団連副会長として) 田上みね子

\*\*\*\*\*

☆廃油石けん作り

松村 23、10

田上 19、80

\*\*\*\*\*

☆ 会員

・佐藤まゆみ ・広野カツ子 ・松村ウメ子 ・田上みね子 ・吉田静子

・横藤崇子 ・川村正子 ・高橋タミ子 ・小野寺京子 ・佐藤冊子 長野慶子

# < 活動風景 >





